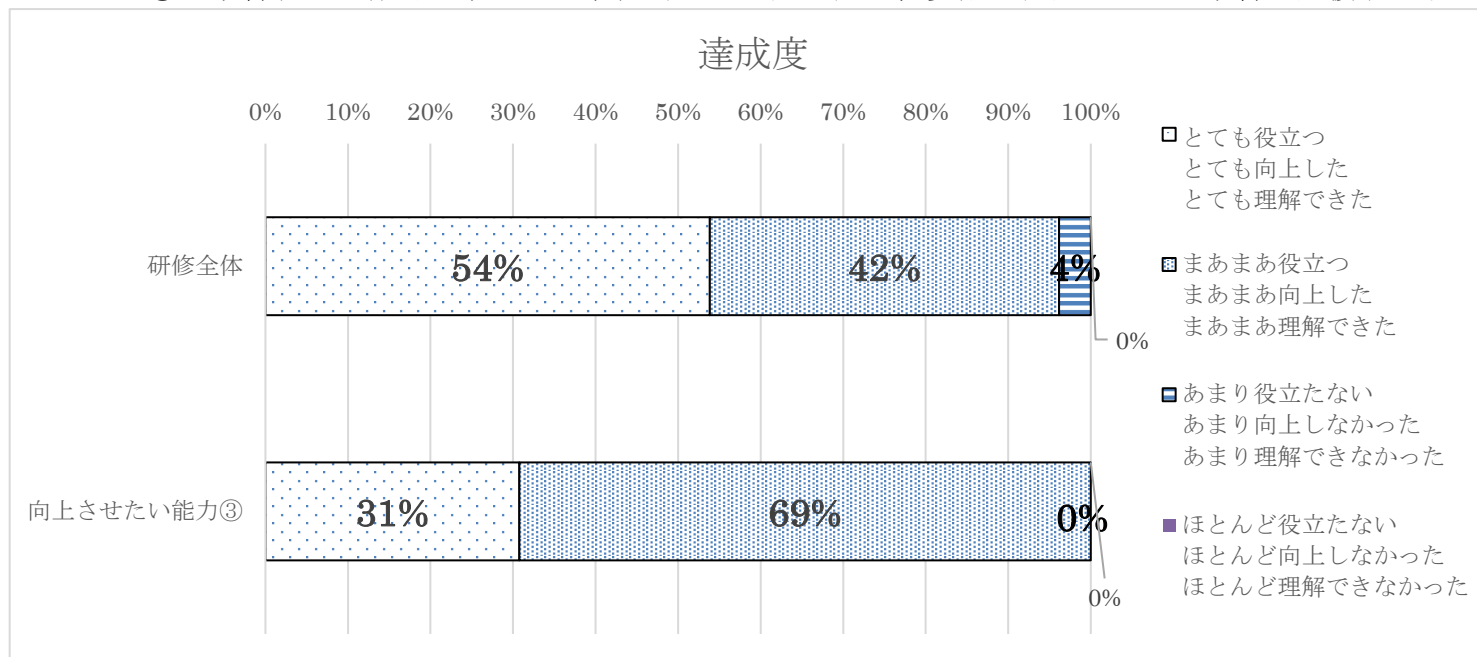


令和5年度生涯学習振興・社会教育行政関係職員等研修【社会教育主事等研修】（生涯学習支援編）
振り返りアンケート集計

【質問内容】 研修全体：今回の研修で学んだことは、明日からの仕事に役立つものになりましたか。

向上させたい力③：学習者の主体的な学びや地域社会への参画を促し、多様な特性に応じて学習を支援する能力



【自由記述から】

- 障害者の学習機会の少なさや無意識に排除されている実態が理解でき、障害者以外の人たちとの場の作り方などを学習することができた。
- 障害のある方への対応＝福祉分野、というイメージで、これまで地域にお住いの方を公民館に来ていただく対象としてきちんと捉えられていなかったという反省点に改めて気付けた。
- 障害者が市民センターで学ぶことにより、広がりをもつことができ、多様性の理解促進など、大きな可能性を感じた。
- 対話型で確認しながらできることを調整していくことが一番近道だと思った。それが最初は個人的な学びかもしれないが、それを周囲に広げていくことで広い学びにつなげていくことができると思うし、その視点があるかどうかで学習の幅が広がると思った。
- まずは自分が学ぶことが必要なのと同時に、当事者など多様な方々と一緒になって、助け合ったり支え合ったりすることが特別ではなく当たり前の学びの機会を作っていければと思う。
- 手話通訳の学習に、実際に手話で生活している方に講師を担っていただいた事例の話を聞き、とても参考になった。その人の持つ力を誰かの学びの指導や補助などで活躍してもらうなど、広い視野を持って学習を考えていきたい。
- まずは自分が学ぶことが必要なのと同時に、当事者など多様な方々と一緒になって、助け合ったり支え合うことが特別ではなく当たり前の学びの機会を作っていければと思う。